

拠出金名: 国際赤十字・赤新月社連盟

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				23,200千円(注1)	
国際機関等名	国際赤十字・赤新月社連盟 (英文名称・略称) Internaional Federation of Red Cross and Red Crescent Societies (IFRC)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省国際協力局人道支援室				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外 貨1 (千米ドル)	外 貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成19年度	0	0		-	-
平成18年度	0	0		-	-
平成17年度(注2)	299,600	2,800		1米ドル= 107円	100
当該拠出金の目的・用途等	事業費				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年のもの)				国際機関等の財政 (2007年度決算)(千CHF)	
	国 名	金額 (千CHF)	拠出率(注3) (%)	当該年度の収入	490,904
1位	米国	70,400	18	当該年度の支出	404,894
2位	スウェーデン	40,400	11	次年度への繰越	86,010
3位	英国	34,000	9	会計検査機関名	
4位	ノルウェー	33,200	9	Pricewaterhouse Coopers	
5位	カナダ	23,100	6		
(日本の拠出順位8位、拠出率4%) なお、IFRCは各国政府と各国赤十字社の拠出の合計額のみ公表しているところ、上記数値は政府と赤十字社の拠出総計					
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
IFRCは、各国赤十字社の国際連合体であり、自然災害・緊急災害時の被災者及び難民等に対する救援活動を主な任務としている。災害時に各国赤十字・赤新月社間の調整や国際救援活動の指揮にあたる他、各国社の人道機関としての能力強化のための開発協力を実施。パキスタン等大地震被害(2005年10月)や本年の中国四川省地震においても、人道支援活動に指導力を発揮し、我が国赤十字社を含む各国赤十字・赤新月社間の調整、これら各国社との協力の下、被害者の救援に大きな役割を果たしている。また、2005年11月に近衛忠輝日本赤十字社社長がアジア・太平洋・中東地域担当の副会長として選出されるなど、日本赤十字社との国際人道支援分野における協力関係の更なる促進が期待される。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
2005年11月にソウルで開催されたIFRC第15回総会において、国連ミレニアム開発目標や災害リスク軽減のための兵庫枠組みを支持し、①災害時の死者・負傷者と被害の減少、②公衆衛生上の危機対策の強化、③生命・財産への脅威に対する赤十字のコミュニティにおける機能の充実、④差別や偏見との闘いの4点を各国赤十字・赤新月社の共通の課題として採択し、共通の目標に向けて各国社間の協力を促進することにより、事業の一層の合理化、質の向上、機能の強化に向けた取り組みを行っている。昨年7月には、ジュネーブの本部内の5つの地域部に代わり、ゾーン事務所を世界7カ所に設置するなど、事業の合理化を図っている。					
邦人職員数 うち幹部以上 (2008年7月現在)	9人 うち 0人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率		1681名 0.54%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
未定					

(注1)本機関に対する平成19年度の我が国の拠出は無償資金協力のみとなっている。

(注2)パキスタンに於ける大規模地震被害に対する緊急人道支援280万ドル(補正予算)を含む

(注3)我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。